

No. 276 2019年6月4日

□■感染症情報(2019年第21週) □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

●トピックス

◆県内における麻しんの発生について(2019年5月25日)

県において、医療機関から麻しん疑い患者の連絡があり、県衛生研究所で検査した結果、麻しん(はしか)患者と確定されました。

保健所において、当該患者の接触者の調査等を実施し、感染拡大防止に努めています。

関係者の皆様においては、麻しん対策の強化をよろしくお願い致します。

(具体例)

平時に、ご自身・職員等の麻しんの罹患歴・予防接種歴(2回)を母子手帳等の記録により確認しておく。

※「記憶」の確認ではなく、『記録』による確認が重要です！

<麻しんとは>

原因：麻しんウイルス

潜伏期間：10～12日間

症 状：感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水、結膜充血といった風邪のような症状が2～4日間続き、その後高熱とともに発疹が耳後部、頸部、前額部に出現します。

合 併 症：中耳炎、肺炎、脳炎

治 療：特異的な治療はなく、対症療法

感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染で感染力は非常に強いと言われている

感染症法：五類感染症、全数把握疾患

(診断を行った医師は保健所に届け出ることになっている)

予防方法：ワクチン接種(唯一の有効な予防法)

【麻しん(はしか)患者の発生について(県)令和元年5月25日】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/kansen/idwr/press/20190525->

[mashin.html](#)

【麻疹（はしか）（県）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/other/measles.html>

【麻疹とは（国立感染症研究所）】

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>

【麻疹・風しん混合(MR)ワクチン接種の考え方（国立感染症研究所）】

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/655-disease-based/ma/measles/idsc/7982-mrvaccine2018.html>

【医療機関での麻疹対策ガイドライン 第七版（平成 30 年 5 月）】

https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/guideline/medical_201805.pdf#search='%E5%8C%BB%E7%99%82%E6%A9%9F%E9%96%A2%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E3%83%9E%E3%82%B7%E3%83%B3%E5%AF%BE%E7%AD%96'

【麻疹（届出基準）】※診断された場合は、ただちに届出をお願いします。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-14-03.html>

【麻疹発生届】

※臨床診断例については、検査結果等を総合的に勘案し、麻疹でないと判断された場合は、届出の取り下げ等にご協力いただきますようお願いいたします。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-05-14-03-b.pdf>

◆インフルエンザについて

銚田保健所管内において、第 20 週 0.40、第 21 週 1.40 と増加しています。

県において、1 定点あたり第 20 週 0.72（国 0.74）、第 21 週 0.47（国 0.92）と減少していますが、増加しており、インフルエンザによる社会福祉施設等に

おける集団発生報告がありましたので、注意が必要です。

【インフルエンザ様疾患による学級閉鎖措置等・

集団発生等の状況について（第30報）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/2018flu30.pdf>

◆腸管出血性大腸菌感染症について

銚田保健所管内において、第20週、第21週の報告はありませんでした。

県内において、第20週の報告はなく、第21週2件の報告がありました。

腸管出血性大腸菌感染症は、毎年夏季に報告数が増加する傾向にあるため、十分な注意が必要です。

潜伏期間：およそ3日～5日

主な症状：激しい腹痛、下痢、血便等

合併症：乳幼児や高齢者が感染すると、溶血性尿毒症症候群（HUS）等により重症化することがある。

<予防のポイント>

- ・調理・食事前、トイレの後に石けんと流水で十分に手を洗う
- ・食品が生肉と接触するのを避ける
- ・食品を十分加熱する
- ・調理後の食品はなるべく食べきる等

【夏は腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう（茨城県）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/documents/201806ehhec.html>

【腸管出血性大腸菌感染症について（国立感染症研究所）】

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/439-ehec-intro.html>

【生肉を調理するときの注意点（茨城県）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/documents/documents/namanikuchouri.pdf>

【食中毒を防ぐ3つの原則、6つのポイント（政府広報）】

https://www.gov-online.go.jp/featured/201106_02/index.html

◆6月1日～7日はHIV検査普及週間です！

県内の保健所では、無料・匿名で検査、相談を行っております。

H29年6月から、クラミジア検査が血液検査から『尿検査』に変更となりました。その他の検査については、従来通り「血液検査」となります。

○検査項目：HIV/クラミジア/梅毒/B型肝炎/C型肝炎

○料金：無料（検査結果が書面で必要な場合、文書料がかかります）

○結果通知：翌週以降の検査実施日に、受検者ご本人がお聞きに来てください。

【鉾田保健所 TEL 0291-33-2158】

実施日：毎週火曜日 9:00～10:00（予約制）

【潮来保健所 TEL 0299-66-2174】

※2019年4月1日より検査曜日変更

実施日：毎週金曜日 10:00～11:30（予約制）

夜間検査：第1木曜日 17:00～19:00（予約制）

【6月1日は「エイズ検査普及週間」です！（県）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/shitpei/yobo/nanbyo>

/aids/index.html

【HIV 検査普及週間に向けた普及啓発イベントを実施します（厚生労働省）】

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000206538_00003.html

【6月1日から7日 HIV 検査普及週間（エイズ予防情報ネット）】

<http://api-net.jfap.or.jp/event/HivInsWeek/ExaminationWeek2019.html>

●感染症サーベイランス情報

【県内の保健所別報告数】

(2019 年第 21 週 5 月 20 日～5 月 26 日)

(2019 年第 21 週までの報告数累計)

結 核 10 件（銚田 0 件，他 10 件）

県 204 件， 全国 7803 件

腸管出血性大腸菌感染症 2 件（水戸，古河）

県 8 件， 全国 445 件

レジオネラ症 1 件（古河）

県 1 件， 全国 519 件

アメーバ赤痢 1 件（潮来）

県 3 件， 全国 336 件

カルバペネム耐性
件， 全国 711 件

腸内細菌科細菌感染

1 件（水戸） 県 21

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 件（日立）

県 9 件， 全国 363 件

後天性免疫不全症候群 1 件

県 3 件， 全国 421 件

侵襲性肺炎球菌感染症 2 件（水戸，龍ヶ崎）

県 31 件， 全国 1625 件

水痘（入院に限る） 1 件（龍ヶ崎）

県 4 件， 全国 169 件

梅 毒 2 件（土浦）

県 41 件， 全国 2394 件

播種性クリプトコックス症 1 件（つくば）

県 2 件， 全国 52 件

